

5 内発型の地域産業がすくすくと育っている

(1) 地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

近年、地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる「地元企業が成長する環境づくり」が注目を集めています。

企業家精神に富んだ中小企業の活動が活発になることで、地域内の企業活動への相乗効果を生み出すことができます。

起業や既存産業の高度化などの挑戦を促すため、商工業団体、金融機関、行政などが協働して、市場や地域ビジネスに関する情報の提供、技術力の高度化支援、企業間ネットワークの構築支援など、地域産業活性化のための環境整備を進めます。

特に、若者が失敗を恐れずに新たな事業に挑戦できる環境整備に努めます。



▲豊岡の未来を担う人材育成を目的とした豊岡稽古堂塾

(2) 豊岡ブランドが構築されている

コウノトリ育む農法を実施してきた人たちのたゆみない努力により、平成 28 年（2016 年）、コウノトリ育むお米が日本最大の食味鑑定コンクールで日本一に輝きました。コウノトリ育むお米は、ブランド米として、国内はもとより世界に販路が拡大されようとしています。

豊岡靴も、かつて激しい価格競争の中で衰退の道を歩んできましたが、近年、豊岡ブランドの構築によって活力を取り戻しつつあります。グローバル化が進展し世界市場での競争がさらに激化する中で、企業のコスト削減努力は当然ですが、地方の中小企業にとっては、価格競争に身を委ねることは必ずしも得策ではありません。

観光においても、地産地消の推進やサービス水準の向上を通じて高付加価値化^{※1}を図り、収益力を強化する必要があります。

コウノトリという環境シンボルを持つ本市において、環境経済戦略も豊岡ブランド構築の可能性を秘めています。

市内産業の高付加価値化によってもたらされる利益を、まち全体で享受することができれば、本市で働くことの価値が上がり、優れた人材確保にもつながります。

企業や業界などと行政との対話を通じて、さまざまな分野で豊岡ブランドの確立を進めます。



▲地域ブランド「豊岡靴」

【関連する取組み例】

「コウノトリの舞」は、本市が認定する市内産農産物・農産加工品のブランドです。県の認証基準に加え、市が独自に定めた要件を満す安全・安心な農産物、農産加工品で、平成 29 年（2017 年）2 月現在、31 品目 5 食品が認定されています。

※1 高付加価値化…商品やサービスなどの質を高めること。